

食育として学校給食をどう捉えているか

町長 食の大切さを伝え、地産地消の役割を果たす場



前半 後半
録画を配信



丸川雅春議員

食育としての学校給食

問 食育として学校給食の位置づけをどう捉えているか。

町長 バランスの取れた食事を提供し発育を促すとともに、食の大切さを伝える場、地元食材の活用により地産地消の中心的役割を果たす重要な場と捉えている。

安全な食べ方の指導

問 福岡県で、給食での窒息死亡事故が発生した。防止対策をどうしていくのか。

教育長 学校経営計画の給食指導に基づき、食べ方の指導や、余裕

がある時間を取り、安全に食べることができ環境を確保していくことを改めて徹底するように指導していく。

郷土愛の醸成

問 給食を通して、郷土愛の醸成にもつながる、地域の食文化の理解を深める取り組みも必要と思うが、いかがか。

教育次長 地域の食文化を知ることが重要な食育の一つと捉えている。昨年度は、郷土料理の日と銘打って、献立に干し大根等の郷土料理の提供を6回実施した。今後も給食を通して



おいしい！

して食文化をしつかりと伝えていきたい。

※ジビエ給食の導入

問 農作物への鳥獣被害の問題意識や、生き物の命をいただく感謝の気持ちを育むため、ジビエ給食の導入をどう思うか。

町長 野生動物の命をいただくことは非常に大事なことであるが、確実に安全安心を担保するには時期尚早で、慎重に対応していく必要がある。

自分で作る取り組み

問 自分で作って持参する「おにぎりデー」や「弁当の日」の取り組みへの効果をどう捉え、今後の発展についての考えはどうか。

教育次長 食に対する感謝の気持ちが見られるようになった。現在は一校のみの開催となっているが、各学校の学校運営協議会等の話し合いの中で広がりが出ることにも働きかけていきたい。



※ジビエ
狩猟された鳥獣肉

給食費の公会計化

問 教員の業務負担軽減や管理の透明性の向上につながるため、給食費を町の会計に組み入れる、公会計化導入の考えはあるか。

教育長 各学校での徴収事務は学校事務職員が行い、監査対象の学校給食共同調理場運営委員会に納められるので透明性は確保されている。現在、国のこども未来戦略会議では、給食費の無償化の実現に向けて具体的方策を検討するとされているので、国や他自治体の動向を注視していきたい。

私もひとこと

安全で安心な給食の提供を今後もお願いします。

(40代女性)